

# シリーズ 市政の今

## 心豊かに暮らせるまちづくり 子育て環境日本一を目指すまち



### ◆親子が安心して健やかに過ごすことのできる環境づくり

社会環境が大きく変化し、ライフスタイルが多様化する中、子育てに対する家庭の力が低下してきているといわれています。「安心できる居場所」「愛情や信頼関係の育成」「社会の基礎やルールを学ぶ」といった子どもの育ちを支える上で重要な家庭の役割をもう一度見つめ直し、親になる前の小・中・高校生の段階から、また、親になってからも子育てに対する学びの機会や親同士の交流の場の提供などを行い、子育て力の向上に取り組んでいきます。

子育ては、社会のあらゆる担い手が、連携・協働することが重要です。持続可能な子育て環境の実現に向け、近所の人や住民同士などのお互いさま社会「地域での共助・共生」による子育て支援体制も研究していきます。

また、健やかな子どもの成長、発達のための健康づくりとして、乳幼児健康診査や各種教室、育児相談など、疾病や異常の早期発見だけでなく、心身の健やかな成長や発達、食事・睡眠、むし歯予防など健康的な生活習慣の確立に向けた支援に取り組んでいきます。

安心して妊娠・出産ができ、出産後

### 施策に関するご意見を

今号の施策に関するご意見や感想をお寄せください。市民や事業所の皆さんと一緒にまちづくりを進めていきます。

▶詳しくは、幼稚園・保育所課(☎66・1009)、子ども支援課(☎66・1008)、健康づくり課(☎65・0065)へ。

も周囲のサポートを受け、不安や孤立を感じず楽しみながら子育てができる。このように、親子が安心して健やかに暮らせる環境づくりを目指し、子育て世代包括支援センターが中心となって「子どもなんでも相談窓口」などの相談支援体制の充実や関係機関との連携で切れ目なく支援していきます。

《子ども支援課・健康づくり課》

近年の少子高齢化や核家族化の進行、地域コミュニティの希薄化や情報化の加速など、子どもや家庭を取り巻く環境にもさまざまな課題があります。

市では、これらの課題に向き合い、次代を担う子ども達が、豊かな自然歴史や文化を持つ「ふるさと舞鶴」に愛着を持ち、豊かな心と体を育て、将来への夢を育み、その夢に向かって自らの力を発揮できる「子育て環境日本一のまち」を目指し、さまざまな取り組みを進めています。

### ◆子どもの豊かな育ちを支える環境づくり

0歳から就学前の乳幼児期は、人間性など人格の基礎を育てる大変重要な時期です。市では「主体性を育む乳幼児教育の推進を基本理念とし、自分で考え、判断し、行動できる「主体性」、自分も友達も大切にする「自己を肯定する心」などの育成をめざす「乳幼児教育レシヨ

ン」に基づき、家庭や地域をはじめ、保育所や幼稚園、認定こども園などで子どもに関わる全ての人がつながりを持ちながら、質の高い乳幼児教育に向けた取り組みを進めていきます。

昨年4月には、乳幼児教育の質向上に向けた取り組みを市内全域に展開する拠点として「乳幼児教育センター」を設置。保育者の専門性を高めるため、園を公開し、学び合いや子どもとの遊びの中の学びを可視化、それを発信していくドキュメンテーション研修を実施しています。さらに、小・中学校の教員と連携し、子どもの育ちを切れ目なくつないでいくため、保幼小中接続カリキュラムなどによる活動に積極的に取り組んでいます。

また、質の高い乳幼児教育を維持・充実させていくために重要となる人材の確保・育成に取り組み、待機児童ゼロを維持しながら子ども達に寄り添った保育やサービスを提供していきます。

《幼稚園・保育所課》



①休日にあそびあわで遊ぶ親子②公開保育で他の園の様子を学ぶ保育士③子育て広場で親同士の交流④ドキュメンテーションで保育を可視化⑤歯科検診で磨き方を学ぶ⑥子育て教室でリフレッシュ

